

「結婚は夢ですか」原稿

張竣傑（しゅん）

皆さんこんにちは、M08のしゅんです。私は台湾人です。

皆さんは「結婚について」どう思いますか。

私は幼い頃から、「将来、幸せな結婚ができたらいいな」という憧れを持っています。私にとって結婚は将来の夢の一つです。愛する人と家庭を築きたいと考えている人は多いと思います。ところが、ある人達にとって、結婚は「将来の夢」というより、「現実ではない」という意味での「夢」を指しています。

はい、今日、私がお話ししたいことは：「同性婚について」です。

同性婚というのは、性別が同じ二人が結婚することです。男性と男性、女性と女性。私は台湾で同性婚が認められる前から、ずっとこのことに関心を持っています。まだ分かりませんが、もしかして、未来の私の恋人は男性かもしれません。

大学で、一人の先生に出会いました。その先生はゲイです。先生は大学時代に男性の恋人ができたそうです。両親に結婚したいと伝えた時、両親は全く認めてくれませんでした。「縁を切る」とか「外国で結婚しなさい」とか言われたそうです。先生にとって恋人だけでなく、両親もなくてはならない人なので、結婚という夢は叶えることは不可能だと思ったそうです。先生の話

を聞いて、私は考えさせられました。その後、同性婚を認めさせるためのパレードなどの活動に参加し始めました。2019年、台湾ではやっと同性婚ができるようになりました。その年に、その先生も結婚しました。長い間の話し合いをした後で、先生の両親も受け入れてくれたそうです。

日本の法律はまだ同性婚を認めていませんが、LGBTQの人達の声をよく聞きます。この数年間、これに関する進展があります。パートナーシップ制度という事実婚制度が開始しました。でも、本当の結婚をしていないと、認められないこともあります。例えば：遺産相続の問題です。更に、病気などで命に関わるような時、そばにいられない……などのケースがたくさんあります。

もちろん、同性婚は一般的ではないので異常だと思う人もいますが、法律は人々の平等を守る基準として、存在しているものでしょう。結婚について、差別をすべきではないのではないのでしょうか。

ですから、私は同性婚を法律的に可能にするべきだと思います。結婚は全ての人にとって、現実的ではない夢ではなく、叶えられる夢であるべきです。

私のこの小さいスピーチで皆さんの考えを変えるのは難しいですが、私は信じています：「たとえわずかな光でも、きっと誰かに光を与える」

ご清聴ありがとうございました。